

かんざい こ

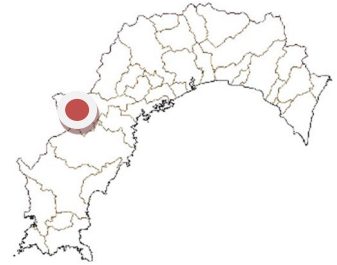
神在居地区



神在居地区の棚田

神在居地区の棚田は石垣に守られ幾層にも重なり合い、「神在居の千枚田」として親しまれている。昔からこの地区に住む人々によって築かれ守られてきた歴史ある棚田は、農業の原風景とも言える貴重な文化的景観となっている。

平成4年に全国で初めて「棚田オーナー制度」を開始し、棚田保全や、都市と農村の交流等に取り組んでいる。



高知県梼原町

※現在、オーナーの新規募集は行っていない(R5 現在)

〔景観の保全〕

オーナー制度を導入し、耕作放棄地の抑制を行っている。

〔地域社会の振興〕

全国で初めて、棚田オーナー制度を導入し、「都市に住む人も棚田のオーナーになれる」という都市農村交流のモデルを生み出した。また、棚田の重要性を見直し、先人たちの心を伝えてきた日本の原風景を後世に伝えるべく、平成7年には「第1回全国棚田千枚田サミット」を開催。現在でも、視察を受け入れるなど、棚田保全の先駆けとして積極的な活動を行っている。

〔保健休養〕

石垣に守られ幾層にも重なった棚田の景観は、訪れた人にやすらぎを与えている。

〔洪水防止、土砂崩壊防止、土壌侵食防止、河川流況安定、地下水のかん養〕

オーナー制導入により耕作放棄を抑制。棚田を守り継続して水稲栽培を行うことでこれらの機能が発揮されている。



収穫したお米や特産品をオーナーに発送



農作業を通じた田植え交流会



収穫した稲を天日乾燥



オーナーと地元関係者との懇親会